

## 2018-19 年度 LCIF コーディネーター会議要録

日 時：2018 年 11 月 26 日（月） 13：00～17：00

場 所：キャッスルプラザ（名古屋）

出席者：

LCIF 国際理事・キャンペーン 100 特別委員	L. 鈴木 誓男
キャンペーン 100 会則地域 V 副委員長・元国際理事	L. 中村 泰久
キャンペーン 100 特別委員・元国際理事	L. 不老 安正
キャンペーン 100 全日本エリアリーダー	L. 菅原 雅雄
LCIF エリアリーダー（東日本）	L. 大石 誠
LCIF エリアリーダー（西日本）	L. 榎本 舜治
キャンペーン副エリアリーダーMD330/333	L. 桜井 孝一
キャンペーン副エリアリーダーMD331/332	L. 小野寺眞悟
キャンペーン副エリアリーダーMD334/335	L. 北畑 英樹
キャンペーン副エリアリーダーMD336/337	L. 大谷 博
330 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 阿久津隆文
331 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 鶴嶋 浩二
332 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 菅野 文吉
333 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 中嶋 正昭
334 複合地区ガバナー協議会議長	L. 藤弥 一司
334 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 加藤助太郎
335 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 夏 有民
336 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 橋本 充好
337 複合地区 LCIF コーディネーター	L. 増田 敏雄
330-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 今井 文彦
330-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 石原 英司
330-C 地区キャンペーン 100 コーディネーター（代理出席）	L. 武藤 博昭
331-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 武田 勝行
331-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 井ノ浦義明
331-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 紺谷ひろ美
332-A 地区ガバナー（代理出席）	L. 高橋 重則
332-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 吉田ひさ子
332-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 原田 善征
332-D 地区 LCIF コーディネーター	L. 酒井 富也
332-E 地区 LCIF コーディネーター	L. 野川 亘
332-F 地区 LCIF コーディネーター	L. 金子 晴雄

333 複合地区ガバナー協議会議長	L. 藤川 清幸
333-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 佐藤 裕幸 (欠席)
333-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 橋本 雄司 (欠席)
333-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 木村 英俊
333-D 地区キャンペーン 100 コーディネーター (代理出席)	L. 小保方廣幸
333-E 地区 LCIF コーディネーター	L. 根本 昌卓
334-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 浜島 清美
334-B 地区 LCIF・GST 委員長 (代理出席)	L. 高間 敏宏
334-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 橋本 勝策
334-D 地区キャンペーン 100 コーディネーター (代理出席)	L. 高松 和宏
334-E 地区 LCIF コーディネーター	L. 菅沼 哲夫 (欠席)
335-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 芝軒 義一
335-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 北畑 博義
335-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 小鍛冶正明
335-D 地区 LCIF コーディネーター	L. 高井 利夫
336-A 地区 LCIF コーディネーター	L. 関野 邦夫 (欠席)
336-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 井上 浩一 (欠席)
336-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 福永 栄一 (欠席)
336-D 地区 LCIF コーディネーター	L. 小田 隆弘
337-A 地区キャンペーン 100 コーディネーター (代理出席)	L. 矢野 進
337-B 地区 LCIF コーディネーター	L. 中原 正勝
337-C 地区 LCIF コーディネーター	L. 川上 眞毅 (欠席)
337-D 地区キャンペーン 100 コーディネーター (代理出席)	L. 窪田 建男
337-E 地区 LCIF コーディネーター	L. 高橋 洋 (欠席)

LCIF 日本事務所

平岩ひろみ

堀 郁世

議事進行： LCIF エリアリーダー (西日本担当)

L. 榎本舜治

報告事項：

## 1. 挨拶および報告

LCIF 国際理事 L.鈴木誓男：

挨拶に続き、事務連絡系統の変更について説明があった。交付金の相談や申請書の送付に関しては、今後はオセアル調整事務局、LCIF 日本事務所を通さず、直接 LCIF 本部の担当部署宛とする。日本からの問い合わせに対して、タイムリーに返答が来るよう理事として要望し、本部の体制を整えた。

キャンペーンにおいて、企業寄付も推進しているが、メンバーの経営する会社に寄付をお願いしているわけではない。メンバー以外の方々に理解を求め、支援の輪を広げてほしい。尚、企業寄付は紹介者のクラブの実績、地区およびクラブシェアリング交付金の基金の対象となる。後々、トラブルとならないよう、紹介者はあらかじめきちんと理解を求めてほしい。

キャンペーン 100 会則地域 V 副委員長 L. 中村泰久：

オセアル会則地域内の他国からも、経済格差があるにも関わらずキャンペーンに対する熱意と多額の寄付をいただいている。現時点の実績では、日本より台湾の方が若干上回っている。日本も負けていられない。VDG セミナーの際に約束いただいた会員増強および LCIF 寄付の目標数値に達していない地区が多いので、達成に向けて頑張ってもらいたい。

キャンペーン 100 特別委員会委員 L.不老安正：

\$1,000 以上の企業寄付を、準地区につき 5 口以上はお願いしたい。企業向けの案内資料を各地区に 5 部ずつ送付している。企業寄付申込用紙の書式に変更あり。振込先が更新されている申込用紙を使用してください。(口座番号 誤 2638517 正 2642573)

LCIF エリアリーダー（東日本担当）L.大石誠：

LCIF は寄付金の 100%が人道支援事業に使われるという素晴らしい特徴を持っている。近年、寄付額よりも交付額の方が上回っており、LCIF の基金が減りつつあるため、寄付の協力をお願いしたい。LCIF は世界的評価も高く、その点を PR 材料にしてほしい。

## 2. 今年度の実績報告（榎本 AL）

LCIF エリアリーダーL.榎本舜治より、2018 年 7 月～10 月末までの実績報告がなされた。配布資料をもとに、各地区の前年対比や目標達成率などを確認。前年対比増の地区が多く非常に高い成果が出ている。現時点では MD330 がトップ。世界全体では、台湾が 1 位、日本が 2 位。年度の後半、特に年次大会終了後は寄付件数が大きく減るため、年度の前半が勝負どころ。日本の実績の 9 割近くが MJF 寄付であるため、いかに MJF を集めていくかが重要。依然として \$20、\$50 が圧倒的に寄付の主体であり現状 \$ 100 寄付が少ない。

### 3. 活動報告および今後の計画発表

キャンペーンエリアリーダーL.菅原、LCIF 東日本エリアリーダーL.大石、キャンペーン副エリアリーダー4名、MD コーディネーター8名より、活動報告がなされた。セミナーや会議の開催報告、担当地区の実績と課題、今後の対策と活動計画などが発表された。

100ドル寄付の参加率を100%にするために、寄付金が有効に活用されていることを実感してもらうのが効果的だろうとし、発展途上国にツアーを組み、奉仕活動を行ってはどうかという提案が出された。

リーダーの積極性が地区のメンバーに影響するため、リーダーが率先することの重要性が強調された。

ガバナー、コーディネーターにLCIFから正しい情報を伝えるようにするので、地区は単位クラブまで正しい情報を必ず伝えて下さい。実績やキャンペーンの内容についても理解を得るようにしてください。

目標達成のため、ターゲットを絞り、戦略をたてて効率的に活動をして下さい。

もし、分からない方は、いつでもエリアリーダーにご相談下さい。(榎本 AL)

### 4. 17-18年度アワードの贈呈 (国際会長メダル)

2017-18年度、全世界において寄付額が上位10複合地区、上位50地区、上位100クラブのLCIFコーディネーターにアガワル前国際会長のメダルが贈られ、会議に出席していたコーディネーターらに鈴木理事よりメダルが贈呈された。

(対象地区、クラブには後日LCIF日本事務所より送付予定:リスト別添)

また、グドラン国際会長ピンを出席者全員に配布。コーディネーターが有効に活用して下さい。(鈴木理事)

### 5. 各担当部署の役割について (鈴木理事)

変更: 交付金に関しては、今後LCIF本部に直接連絡をすること。各交付金担当部署の連絡先一覧を資料として配布したが、修正箇所があるため破棄すること。後日正しいものをキャビネット事務局に送付する予定。交付金に関して質問がある場合、地区コーディネーターはMDコーディネーターに相談する。

### 6. チャリティゴルフコンペの実施について (オセアル会則地域副委員長 L.中村)

● チャリティゴルフコンペの構想が発表され、その場で承認された。  
2019年5月までに、全準地区でLCIFキャンペーンチャリティゴルフコンペを開催する。代表者5名を選出し(例:総合優勝者、女性優勝者、70歳以上優勝者など)、6月頃に全国チャンピオントーナメント戦を行う。参加費を一人2,000円以上とし、LCIFに寄付する。キャンペーン期間中の3年間継続して行う。今年度の決勝トーナメント戦はMD330が担当。

以降は他の MD がローテーションでホストを担当する。詳細については 12 月中に案内文書を発信する予定。開催にあたってジャパンカップの委員会を設立、委員は LCIF MD コーディネーターとする。

- 『奉仕の道のり』について (LCI)

グドラン国際会長より、『奉仕の道のり』が強く打ち出されている。奉仕活動をしただけで満足せず、恩恵を受ける人の数、奉仕活動がどのように受け止められたか、どのように生活が改善されたかということ、今後、クラブで奉仕活動をする際に突き詰めて考えるよう指導をしてほしい。

## 7. 質疑応答

- LCIF 寄付を複数回行うと、送金手数料がかさむため、キャビネット事務局がまとめて送金・報告を行うことは可能か。  
→寄付者一覧表を添付の上、本部に報告すれば対応可能。(鈴木理事)
- モデルクラブについて。全員が寄付参加をしなくても、一部のメンバーによる MJF 寄付で平均額が 750 ドルを上回れば達成とみなされるのか。  
→みなされる。(榎本 AL)
- 企業寄付について。1,000 ドル未満の寄付は可能か。  
→可能。ただしアワード(企業楯)は交付対象外。(榎本 AL)
- 企業寄付の実績はクラブシェアリング交付金の還元対象になるのか。  
→対象。紹介者のクラブの実績に計上される。ただし本部への報告が必須。(榎本 AL)

## 8. その他報告

- 334MD コーディネーター L.加藤が体調不良により年内で退任されることが発表された。後任は、現 334 複合地区議長の L.藤弥。
- 来年度の LCIF 理事長公式訪問を 2019 年 7 月 29 日に開催する予定。(鈴木理事)
- 企業寄付を行っていただいた際、紹介者から本部に報告をしない限り、企業へのアワードが交付されず、クラブの実績にもならない。LCIF 企業寄付申込用紙を、紹介者が必ず本部に送信するように徹底してほしい。(事務局職員より)
- 企業寄付申込書の紹介者欄には必ず予め記入しておいて下さい。(榎本 AL)

以上